

特集
1

esports project



ゲームチェア提供 DRJ株式会社

特集
2

京都国際マンガ・アニメフェア2018
東京ゲームショウ2018

特集
3

第58回大学祭／ホームカミングデー／
テクノフェアinねやがわ／なわフェス'18

OECU Club & Circle

バレーボール部／通信研究会

- ・NEWS & TOPICS
- ・受賞報告
- ・OECUサイエンス×ライフプロジェクト活動報告
- ・人事異動

2019年 新年のご挨拶

学校法人大阪電気通信大学 理事長
大阪電気通信大学 学長

大石 利光



己亥の新しい年の初めにあたり皆様に謹んで新春のごあいさつを申し上げます。そして本年が皆様とご家族にとって幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

さて本学園では、2021年に創立80周年を迎えるにあたり、昨秋に新たな学園シンボルマーク・タグラインを制定し、全学部で情報教育を進化させAI・IoT時代の新たな実学教育をめざすことを社会に発信いたしました。具体的活動のひとつとして、ICT社会教育センターを新設し、地元寝屋川市や四條畷市、大阪市そして茨城県の各教育委員会とプログラミング教育に関する連携協定を結びました。本学の学生や大学院生・教員などを小学校や中学校の教育現場に派遣し、小中学校教員向けのプログラミング講習を開始するなど、超スマート社会(Society5.0)の到来に備え、学校や企業における情報教育に貢献することで、教育資源を社会に還元してまいります。

また、昨年11月より寝屋川キャンパスにおいて、キャンパスリニューアル工事がスタートしました。寝屋川キャンパスの中心部に建設する新棟は、人々が集うパサージュを設けてオープンな空間を創出し、ガラス張りで仕切りのない研究室とします。キャンパス内のコミュニケーションを活性化し、新たな成長につながる環境を創り、人間力と技

術力を備えた学生の育成を進めてまいります。

時代や社会の変化に合わせ、学びも多様化し続けています。ICTと並んでコミュニケーションの重要性が増す今の時代において、教育・研究ともにオープンなスタンスに変え、より充実した環境で学修をサポートします。

また2020年4月に医療福祉工学部を医療健康科学部(※)、医療福祉工学科を医療科学科(※)と名称を変更し、これまで培ってきた医療・スポーツの学びにこれまで以上の情報教育の学びを加え展開・進化させることで、未来の医療・健康の期待とニーズに応える人材を育成してまいります。

大阪電気通信大学高等学校においては、大阪電気通信大学との連携をより強化するとともに、IoT関連の教育を充実させるなど高校の魅力を高める活動を進めてまいります。

本年も社会の進化・変化に対応できる学生・生徒を輩出すべく、全教職員とともに一丸となって学園運営に邁進してまいります。引き続き皆様のご理解と温かいご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

※2020年4月学部・学科名称変更予定。名称及び計画内容は変更となる場合があります。



第1回
10月28日

「シャドウバース チーム対抗戦」



「スマブラ交流会in大学祭 & 寝屋川文化芸術祭」

来場者は240人を超え、本プロジェクト2回目となるイベントは大盛況で終わることができました。

第2回
11月3日



注目を集めているesportsの世界。本学では、全学的な活動として「esports project」を昨秋立ち上げました。

各種大会で活躍できるプレイヤーを教育的観点から育成するのはもちろんのこと、大学間で開催されている交流戦の主催をはじめ運営スタッフ、チームマネージャー・中継スタッフなど、esportsに関連する人材を育て、esportsの発展に寄与していきます(担当教員:ゲーム&メディア学科いしせきひでゆき教授)。

すでに本学の「電chul(大阪電気通信大学中継チーム)」という学生プロジェクトが活動しており、本格的な動画配信の機材を使ってesportsイベントの中継を行っています。

「esports project」は今後も、大学・専門学校などの教育機関をはじめ、関連企業や団体とも積極的に連携し、活動をしていく予定です。



京都国際マンガ・アニメフェア2018



今注目集めるVTuber出展

5年連続出展



総合情報学部デジタルゲーム学科・ゲーム&メディア学科が、9月15日、16日にみやこめっせ(京都市)で開催された「京都国際マンガ・アニメフェア2018(通称:京まふ)」に出展しました。京まふは、西日本最大規模のマンガ・アニメ総合見本市で、毎年多くのファンが集まる非常に人気のイベントです。本学の出展は今年で5回目となります。

本学のブースでは、学生たちが制作した完成度の高いタブレット・スマートフォンゲームが出揃いました。また、現在注目を浴びているVTuber作品も公開。VTuberは「バーチャルYouTuber」の略語で、クリエイターがモーションキャプチャー技術を使い、3Dアバターの動画を配信します。3Dアバターが学生の試作したゲームを操作し、司会の学生がその様子を実況しました。近年注目を浴びているVTuberコンテンツとあって、大勢の来場者が訪れ、大いに盛り上がりました。

このほか、CG合成体験やイラスト展示などを行い、学生は案内や説明に大忙しでした。2日間にわたり、学生と教職員が連携してスムーズに準備や運営を行い、イベントは大盛況のうちに終了しました。

12年連続出展



9月20日から23日に幕張メッセ(千葉市)で開催された「東京ゲームショウ2018」に総合情報学部 デジタルゲーム学科が関西の総合大学として唯一出展しました。「東京ゲームショウ2018」は、コンピュータエンターテインメントの日本最大規模の総合展示会で、本学は2007年に初めて出展して以来、今回で12年連続の出展となります。

今年度は、タブレット・スマートフォンゲームを中心に学生作品を出展し、来場者から完成度の高さに驚きの声が上がりました。また、出展学生からは、「非常に良く出来ているとの感想もあれば、さらにクオリティを上げるためのアドバイスもいただけたので、今後のゲーム制作にぜひ繋がりたい」との前向きな意見がありました。

今回の「東京ゲームショウ2018」への総来場者数は、29万8690人で歴代最多となり、改めてゲーム業界の人気や注目度の高さが示されました。

本学のブースでも4日間を通じ、国内外、老若男女問わず多くの来場者で賑わい、大盛況の中で今年度の東京ゲームショウが幕を閉じました。

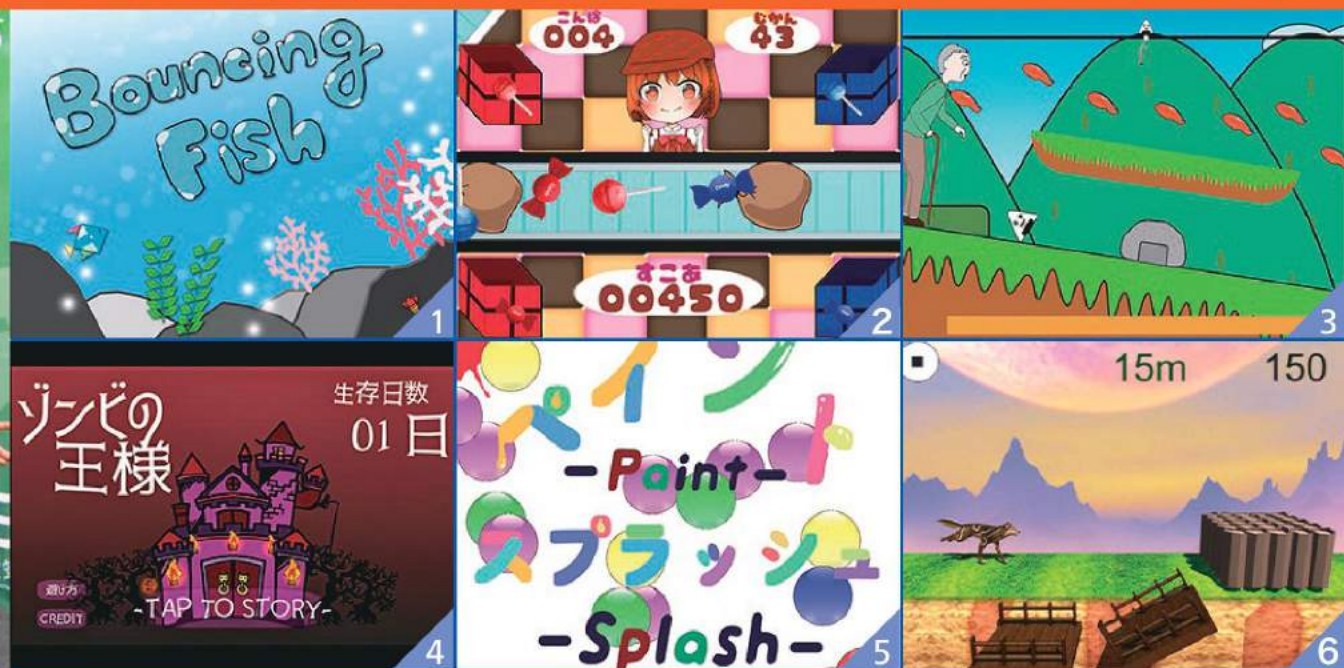
完成度の高さに驚嘆の声



東京ゲームショウ2018



日本に最先端ゲームを広めるきっかけに



- ① BouncingFish
餌であるエビの元まで魚を弾いてクリアというシンプルなおもしろゲーム
- ② CANDY FACTORY
キャンディの色ごとにどれだけ正確に多く仕分けられるかというゲーム
- ③ につける! おにぎりくん
童話の「おむすびころりん」をモチーフにしたランニングアクションゲーム
- ④ ゾンビの王様
ゾンビの王様が住むお城を守るタワーディフェンスゲーム
- ⑤ Paint Splash!
ボールの色を塗り替えて4つ以上のボールをつなげて消し、高得点を狙うシンプルなパズルゲーム
- ⑥ Crafter Runner
疾走しゴールを目指す狼の道をプレイヤーが作るゲーム

学生渾身の作品を一部紹介! 今年度の出展ゲーム

第58回大学祭 11/3㊦・4㊦

今年のテーマは『Smile』。大学祭実行委員会を中心に、学生たちはそれぞれの個性を發揮しながら大学祭を盛り上げました。



第11回 テクノフェアinねやがわ 11/4㊦

最先端の科学技術をわかりやすく紹介する、見る!触れる!学ぶ!体験イベント「第11回テクノフェアinねやがわ」を開催。近隣のご家族連れをはじめとする約2700人の方々にお越しいただき、楽しみながら科学技術に触れ、興味・関心を深めていただきました。



ホームカミングデー 11/3㊦

卒業生の皆さまをお招きし、恩師や同窓生と旧交を温め、母校の近況を肌で感じていただきました。



なわフェス'18 11/25㊦

9回目を迎える今年は『アクアリウム』をテーマに、四條畷キャンパスイベント運営委員会の学生が中心となって、趣向を凝らした多彩な企画を実施しました。学生が制作したゲームの展示、ストリート部によるステージでのパフォーマンスなど、非常にバラエティ豊かなラインナップで、幅広い層の方々に「なわフェス」を楽しんでいただきました。





日本でも馴染みのスポーツ・バレーボール。本学のバレーボール部は、部員11人とマネージャー2人で四條畷キャンパスの体育館で火・木曜日の17:00~21:00、土曜日は10:00~14:30に練習に取り組んでいます。「関西大学バレーボール連盟」に所属し、「春季リーグ戦」と「秋季リーグ戦」の勝利に向かって、課題の克服や基礎練習・チーム力をあげていくため、主将の阿部大輝さん(工学部環境科学科2年生)を中心に日々挑戦しています。バレーボール部の魅力を尋ねたところ「チームとしての力はこれからですが、選手一人ひとりに力があるので、この力を結集して勝てるチームをみんなで

築いていきたい」と阿部主将は話してくれました。バレーボールのポジションは、スパイカー・セッター・レシーパー・リベロ・プロッカーに分けられ、それぞれ練習を重ねながら技術力やコンビプレイを磨いています。メンバーには、小学生からバレーボールを続けている人や、高校生のときに京都や大阪の強豪校で活躍した人も所属し、ピカイチメンバーが揃っています。どんなスポーツでも、同じ目標をもったメンバーと練習を積み重ね、励まし合い、苦楽をともに過ごしていくことで課題や弱点を克服することができ、その過程でチーム力は作られていくと思います。バレーボール部の今後の活躍がとても楽しみです!

バレーボール部からのメッセージ

5部昇格という目標を達成するためには、1年生の力が必要になります。バレーボールに興味のある方はぜひ見学に来てください!



OECU Club & Circle

大阪電気通信大学のクラブ・サークル活動に迫る!

通信研究会は、大学開学当初からあるクラブで「大学のクラブのなかで一番古い歴史があります」と教えてくれたのは、会長の北井翔太さん(情報通信工学部通信工学科2年生)。会長を中心に23人のメンバーが、寝屋川キャンパスで平日の16:30~20:00まで活動しています。通信研究会の魅力は、一人ひとりが好きな分野に集中して学べる環境が整っていることで、「ロボット」や「VR」(バーチャルリアリティ)のゲームを作製したり、セキュリティやネットワーク通信を学び、それぞれの分野で経験を積んだ先輩が、後輩へ丁寧に教える伝統があるところ

と話してくれました。今後の目標は、情報セキュリティをテーマにした多様な競技を開催するセキュリティコンテストイベントである「SECCON CTF」や「HITCON CTF」などの大会へ参加していきたいとのこと。また、毎年「会報」を発行し、歴代の通信研究会の卒業生およそ100人に発送しており、大学祭など折に触れて交流しているとのこと。通信研究会の絆が深いと感動しました。今後も、通信研究会の活躍を期待します。



通信研究会からのメッセージ

通信研究会はそれぞれの分野に特化した先輩がたくさんいます。自分の興味のある分野と一緒に研究していきませんか?



小学生向け科学講座の協力

9月5日、電子機械工学科の月間満教授と環境科学科の中田亮生教授が、寝屋川市立木田小学校で同校の50周年記念事業として科学講座の実施に協力しました。家庭科室では、月間教授による「不思議な不思議な電気と磁気」をテーマに22人が3組に分かれて「駒を回して空中浮揚させてみよ

う」「永久に回転するスピナーを作ってみよう」「コイルを使った磁気浮上実験」を順に体験しました。月間教授は、磁石に関するクイズを2題出して「今日は永久磁石がくっついたり離れたりする性質を利用して3つの実験をやりまします」と話し、TA(ティーチングアシスタント)の学生が1つずつテーマを分担して、子どもたちと楽しく実験を行いました。

本学の学生と教員が企業との共同制作に参加
HEP FIVEホラー観覧車「怪談車」!



デジタルゲーム学科・ゲーム&メディア学科の学生と教員が企業と共同制作したホラー観覧車イベントが、10月1日から10月31日まで、阪急阪神ビルマネジメント株式会社主催のハロウィンイベント「史上最恐のHEP FIVE HALLOWEEN」で開催されました。この企画は、ハロウィンをテーマにHEP FIVEと関西の学生がコラボレーションしたイベントの一環で、期間限定のホラー観覧車「怪談車」の制作に本学の学生と教員が携わりました。今回企画に参加したのは、いしげきでゆき研究室(キャラクターデザインコミュニケーション研究室)と山路敦司研究室(サウンドデザイン研究

室)の学生たちです。「怪談」のストーリーや「怪談車」の内装・外装についてブレンストーミングを通じた企画・制作、企業との検討を行



第14回新天地 in NEYAGAWA 2018」で本学学生が活躍!



10月13日、京阪寝屋川市駅前で「第14回 新天地 in NEYAGAWA 2018」が開催されました。本学学生の永岡佑斗さん(工学部基礎理工学科2年生)が実行委員長を務め、副実行委員長の豊村真弥さんと河村和弥さん(ともに工学部基礎理工学科2年生)らとともに尽力しました。また大石利光理事長・学長も来賓として参加しました。

「新天地 in NEYAGAWA」は、「若者が元気の源となり国際交流を含めた若者同士の繋がりで地域を活性化」という想いのもと、近隣在住の大学生等が主体となり自発的に立ち上げ毎年行われているイベントで、本学からは吹奏楽団が参加し、演奏で会場を盛り上げました。



い、また、本学キャンパス内のスタジオ(JIAMS)では声の出演をいただいた柊瑠美さんと伊藤明賢さんのアフレコ・編集・音響制作などを実施しました。学生たちは、授業や実習・課外活動での官学協働や地域連携プロジェクトへの参画、サウンドデザインの研究など、日頃の経験を活かし、今回の産学連携プロジェクトに挑みました。



四條畷キャンパスにて
「四條畷ヒルクライム
デュアスロン大会」開催

10月21日に、一般社団法人 四條畷青年会議所主催による「四條畷ヒルクライムデュアスロン大会」が開催されました。
本大会では、四條畷キャンパスの第2グラウンドをスタート地点としキャンパス内がコースの一部として使用されました。また、本学の健康スポーツ科学科の山下陽一郎教授をはじめ学生約20人が、大会ボランティアスタッフとして協力しました。
当日は、秋の快晴のもと、男子118人女子22人の参加者が四條畷キャンパスを走り、バイクコースである清滝峠へ走り抜けていきました。

寝屋川キャンパス
リニューアル工事始まる

寝屋川キャンパスのリニューアル工事が昨秋から本格的にスタートしました。新棟の西側半分が2020年春、東側半分が2022年春に竣工予定です。キャンパス内のコミュニケーションを活性化するため、人々が集うパサージュを設けてオープンな空間を創出するなど、新たな成長につながる環境を整備していきます。



正門横の前庭に重機が入りました



正門横に工事車両用のゲートが設置されました



R号館を含む中庭周辺は仮囲いで覆われました



B号館跡地では大型重機が次々に廻り進めています

「OECU杯 ヒト型レスキューロボット
コンテスト2018」を開催



11月4日、寝屋川キャンパスで「OECU杯 ヒト型レスキューロボットコンテスト2018」(主催:ヒト型レスキューロボットコンテスト実行委員会 委員長:総合情報学部情報学科升谷保博教授)を開催しました。ヒト型レスキューロボットコンテストは、ヒト型ロボットによる災害救助をテーマにしたロボットコンテストです。ヒト型ロボットを遠隔操作して、「ガレキ除去」や「要救助者搬送」など4つのタスクを順に実行し、成功したタ

スクの数や、かかった時間の短さを競うもので、目視で操作する「目視部門」と、搭載カメラの映像のみで操作する「搭載カメラ部門」があります。今回は、競技者17人中、本学から4人の学生が参加し、さまざまな工夫を凝らした個性豊かなロボットで本コンテストに挑みました。その中で、自由工場の黒葛原啓太さん(工学部機械工学科3年生)が目視部門で第1位になりました。

基礎理工学科の学生が「全国大学ビブリオバトル」に出場決定!

11月8日、寝屋川キャンパス図書館で「全国大学ビブリオバトル 地区予選@OECU」を開催しました。ビブリオバトルは、おすすめの本の魅力を制限時間内で紹介し、投票で最も読みたい本を投票して決定するゲーム感覚の「書評合戦」です。本学で開催された地区予選は杉中天也さん(工学部基礎理工学科2年生)が優勝し、11月17日の地区決戦へ出場。惜しくも2位となりましたが、特別枠として選出され「全国大学ビブリオバトル」への出場が決定しました。全国大会ビブリオバトルは、日本全国の大学生、大学院生による大会で、地区決戦を勝ち抜いた36名が出場します。



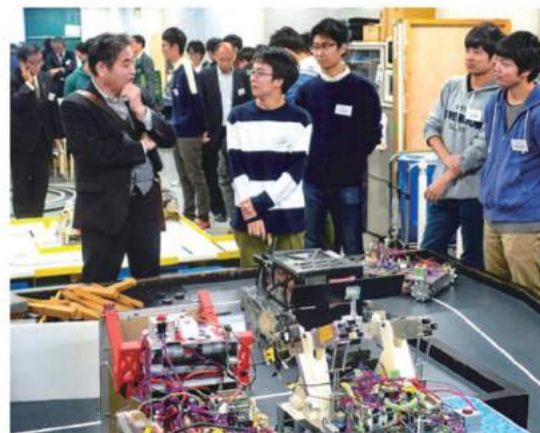
武将 楠正行の「かるた」を作成



デジタルゲーム学科社会プロジェクト実習 木子班(担当:木子香准教授)の学生が中心となり、2018年の4月から四條畷市ゆかりの武将である楠正行の「かるた」を作成してきました。「かるた」完成後の10月26日には、四條畷市のくすのき小学校で、小学3年生とその保護者を対象とした「楠正行 くすのきまさつら かるた大会」を開催、約130人の参加者があり、大盛況のうち終えることができました。そして、12月8日には、四條畷楠正行の会とともに四條畷総合センターで「楠正行 くすのきまさつら かるた大会」を開催。四條畷市に「かるた」を贈呈し、市民の皆さまに楽しんでいただきました。



卒業生と自由工場の学生の交流会



11月16日、本学卒業生の経営者の有志グループである「OECU経営者の目会」の皆さまにお越しいただき、自由工場の学生との交流会を実施しました。
自由工房学生メンバーによる活動内容のプレゼンテーション後、各プロジェクトのブースにおいて実機を目の前にしての質疑応答や、参加者の皆さまと学生との間で活発な意見交換が行われました。その後、交流会を開催し、学生はプロジェクトで苦労したことやチームで取り組むことによって生まれた工夫などを話し、「経営者の目会」の皆さまからは、学生時代の思い出についてのお話や学生への助言をいただき、有意義な会となりました。



SDGsの取り組みを行っています

SDGs(持続可能な開発目標)は、大変注目を集めている国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲット

から構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。本学は、このSDGsに賛同し達成へ向けた取り組みを行っています。



留学生歓迎会を開催

9月14日、留学生歓迎会を国際交流センターで行いました。今学期はオランダ(協定校のユトレヒト芸術大学)より交換留学生2人、アメリカより研究生1人の留学生が来日しました。これから約半年間、総合情報学部デジタルゲーム学科の研究生として本学で学びます。





9月10日 寝屋川市教育委員会との協定式

プログラミング教育に貢献

本学は、ICT(情報通信技術)を活用した社会教育に貢献する全学横断組織として「ICT社会教育センター」を設立し、地元寝屋川市や四條畷市、大阪市そして茨城県の各教育委員会とプログラミング教育に関する連携協定を結びました。2020年度から小学校で必修になるプログラミング教育の指導教員の養成や、子どもたちが論理的に物事を考える力を養うことを目的としています。本学は、これまで培ってきた情報教育のノウハウをベースに、超スマート社会(Society5.0)の到来に備えた人材育成に貢献し、子どもたちの思考力養成に有効とされるプログラミング教育を充実させるべく、大学を軸にした地域連携を進めています。



12月12日 四條畷市教育委員会との協定式



建築学科の有志学生による

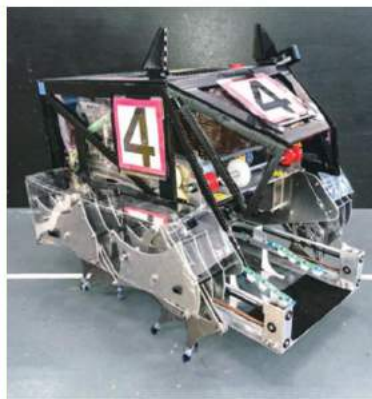
ポプラプロジェクト

「ポプラプロジェクト」は、寝屋川キャンパスの大規模リニューアルに伴い、伐採される4本のポプラの木の活用法を検討し、建築学科の有志の学生が活動をしています。

また、活用法だけでなく、ポプラの木の歴史を調べ、その歴史を未来に伝える取り組みも行っています。9月には、活動の一環として、ポプラが植えられている中庭のデジタルデータ化を行いました。3D造形先端加工センターで、3Dレーザースキャナーの取扱方法について説明を受け、

現場である中庭へ。高価な機材に緊張しながら、慎重に機材を組み立て、いざ計測。3Dレーザースキャナーを使って、中庭をスキャンし、ポプラの木や建物の情報をデジタル化しました。伐採したポプラの幹の製材は株式会社塩野商会(摂津市)のご協力を得て行いました。当日は、建築学科の学生3人が実際の製材作業の様子を見学しました。製材されたポプラの木は1年ほど乾燥させた後、机や椅子、看板など、学生がアイデアを出し加工まで行う予定です。

受賞報告 ▶▶▶ 学生・教員



8月11日、12日に、神戸サンポーホール(神戸市)で開催された「第18回レスキューロボットコンテスト」で本学の自由工房から「救命ゴリラ!!」チームが出場しました。

競技会本選は、24チームが参加した予選を通過した14チームで行われ、「救命ゴリラ!!」チームは総合成績で8位となり、そのロボット作りが評価され「4号機スレイブニル」が「ベストロボット賞(日本ロボット学会特別賞)」を受賞しました。なお、この賞はロボット工学の観点からもっとも優れたロボットに与えられるものです。

「マイクロマウス2018関西地区大会」開催 マイクロマウスキット大会 第4回 Pi:Co杯で 藤本さんがクラス優勝

9月16日、「マイクロマウス2018関西地区大会」が本学寝屋川キャンパスで開催されました。マイクロマウス競技は、参加者自らが作った小型の移動ロボットが自律的に迷路を探索し、ゴールまで達する最短時間を競います。本大会は、マイクロマウス委員会関西支部が主催するもので、1980年より毎年開催されている「全日本マイクロマウス大会」の地区大会となります。競技は、「マイクロマウス競技」「クラシックマウス競技」

「ロボットレース競技」の3種目が行われ、本学の自由工房からは、クラシック競技に6人が参加しました。

その結果、参加した6人のうち4人が完走し、2人の学生が1分を切る走行記録を出すなど健闘した結果、藤本創さんが「全日本マイクロマウス大会」の地区大会となります。競技は、「マイクロマウス競技」「クラシックマウス競技」



「MISUMI presents第33回 ROBO-ONE」で 自由工房ヒト型ロボットプロジェクトの学生が準優勝



9月23日、神奈川県立青少年センター(横浜市)で開催されたヒト型ロボットの格闘技の全国大会「MISUMI presents第33回 ROBO-ONE」で、自由工房ヒト型ロボットプロジェクトの関悠伍さん(工学部電気電子工学科4年生)が準優勝し、さらに「ミスミ賞」も受賞しました。本大会は、全国から集まった二足歩行ロボットによる格闘技大会です。今回の大会には、自由工房のヒト型ロボットプロジェクトから6人が参加し、藤本恵汰さん(工学部電子機械工学科2年生)もベスト8に輝きました。

なお、前日に開催された「第4回ROBO-ONE auto」(自律部門)においても、関さんは第3位に入賞しました。



「第2回OECU SPIチャンピオンシップ」で**全国第1位の快挙!**

10月11日、「第2回OECU SPIチャンピオンシップ」の授与式を寝屋川キャンパスで執り行いました。本取り組みは、企業の入社試験に高頻度で利用される適性検査(SPI)に対し、早期の段階で慣れることを目的とし、学内で参加者を広く公募し、「SPIチャンピオンシップ」と題した大会として開催しています。「SPIチャンピオンシップ」は、リクルートと連携して、同社の実施する「SPI模試(Web版)」を受検しその点数を競うもので、予選・決勝合わせて延べ212人の学生が参加しました。

今回第1位の多賀愛さん(医療福祉工学部医療福祉工学科3年生)は、学内順位1位のみならず、約2万人が受検する「SPI模試(Web版)」でも全国第1位という優秀な成績を修めました。さらにこの成績は、同社が前回実施した試験に続いて2連覇(前回も全国第1位)という快挙でした。



10月17日から21日まで、東京ビッグサイト(東京都江東区)で行われた「World Robot Summit 2018」の「トンネル事故災害対応・復旧チャレンジ」で、情報学科ロボティクス研究室から出場したODENSチームが3位に入賞しました。さらに、独自の遠隔操縦方法が評価され「日本ロボット学会賞特別賞」も受賞しました。

今回出場した「ODENSチーム」は、升谷保博教授(総合情報学部情報学科)、尾西克之さん(同学科4年生)、三谷一輝さん(同学科4年生)、眞野凌一さん(同学科3年生)の4人がメンバーです。「World Robot Summit 2018」は、経済産業省と新エネルギー・産業技術総合開発機構

「World Robot Summit 2018」のトンネル事故災害対応・復旧チャレンジでODENSチームが3位に入賞

(NEDO)が主催する「ロボットをテーマに人々がつながり、未来を語り合う場」であり、世界中から集結したチームがロボットの技術やアイデアを競う競技会「World Robot Challenge (WRC)」と、ロボット活用の現在と未来の姿を発信する展示会「World Robot Expo(WRE)」で構成されています。



原久子教授が「平成30年度四條畷市有功者」として表彰



11月29日、ゲーム&メディア学科の原久子教授が、四條畷市より「平成30年度四條畷市有功者」として表彰を受けました。原教授は、四條畷市の総合計画審議会委員、情報公開・個人情報保護審査会委員などを歴任し、永年にわたり四條畷市政の進展に尽力したとして表彰されました。また、2007年から多年にわたり「情報公開・個人情報保護審査会委員」を務めたことに対し「特別感謝状」の贈呈を受けました。



工学部 小林さんが「大阪府職業能力開発協会会長賞」受賞

女子バスケットボールの学生が「平成30年度大阪スポーツ賞」受賞



10月26日、大阪府教育委員会の「平成30年度大阪スポーツ賞(優秀選手賞)」を仲藍梨さん(医療福祉工学部健康スポーツ科学科1年生)が受賞しました。「大阪スポーツ賞」は、大阪府教育委員会から大阪府の体育・スポーツの振興に寄与した個人及び団体に対し贈呈される賞。仲さんは、昨年のバスケットボール「第4回3x3U18日本選手権大会」で日本一に輝き、さらにMVPに選ばれ、今回の受賞になりました。小学校3年生からバスケットボールをはじめ、小・中・高と努力を続けていくなかで素晴らしい結果につながり、現在は大学生として本学の女子バスケットボール部で活動を続けています。仲さんは「電通大の女子バスケットボール部の一員としてチームに貢献できるよう努力して、勝利につながるよう頑張っていきたい」と話してくれました。

12月3日、シーケンス制御作業検定2級を優秀な成績で合格した小林由亮さん(工学部電子機械工学科4年生)が大阪府職業能力開発促進大会で「大阪府職業能力開発協会会長賞」を受賞しました。大阪府では優れた技能者が適切に評価される社会づくりに取り組んでおり、この大会はその取り組みの一環として、優れた技能者や職業能力開発・技能検定の推進に功績のあった方々を称え、技能を尊重する社会を形成するために開催されています。小林さんは、大阪府の中で1人かつ大学生として唯一表彰されました。



地域連携学生フォーラムin大阪2018
本学学生がポスター発表

10月14日、大学コンソーシアム大阪が主催する「地域連携学生フォーラムin大阪2018」が近畿大学実学ホール(東大阪市)で開催されました。齊藤研究室(工学部環境科学科・齊藤安貴子教授)のベリーベリープロジェクトについて、5代目リーダー恒川昂平さん(工学部環境科学科4年生)、4代目リーダー道下僚さん(工学部環境科学科1年生)、花岡祐也さん(工学部環境科学科4年生)の3人がポスター発表を行いました。学生たちは、プロジェクトの特徴やこれまでの活動について協力いただいている地域の企業や団体との取り組み内容も交えながら発表し、これからの展望についても話しました。運営のボランティアとして、環境科学科2年生の学生も参加し、「地域連携学生フォーラムin大阪2018」をサポートし、無事に終わることができました。



アグリビジネス創出フェア2018
「ラズベリープロジェクト」が出版

11月20日から22日にかけて、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「アグリビジネス創出フェア2018」に、齊藤研究室(工学部環境科学科・齊藤安貴子教授)と入部研究室(工学部電子機械工学科・入部正継教授)の「ラズベリープロジェクト」を出展しました。「アグリビジネス創出フェア2018」では、学生がパネルやポスターを使用した研究発表や、ラズベリー関連食品の試食・試飲を行い、今年は昨年からの改良を行ったソルティー・ラズベリー(サイダー)、および、新しいラズベリークッキーを提供しました。参加した学生たちにとって、企業や生産者、他大学の研究者など、さまざまな業界の方々に自分たちの取り組みを紹介し、交流を深める非常に貴重な機会となりました。いただいた意見やアンケート結果を今後の研究に活かし、プロジェクトの活動をさらに充実させていきます。



人事異動

異動(10月1日付)

副学長 兼 学務部長	森 幸治
学生部長を解く(総合学生支援センター長)	伊與田功
法人事務局長 兼 法人事務局記念募金推進室長 兼 法人事務局高大連携室長	寺西正光
法人事務局担当次長 兼 法人事務局高大連携室担当次長 兼 学務部教育開発推進室長	太尾智典
大学事務局次長 兼 会計課長	四元博文
四條畷事務部長 兼 庶務会計課長	力久竜治
四條畷事務部四條畷学務課長 兼 国際交流センター事務室長	長谷川靖倫

学務部次長	吉川 茂
学務部学務課長	島袋 桂
学務部担当課長 兼 実験サポート課長	今井久雄
学務部学務課長補佐 兼 総合学生支援センター事務室長	石井一也
学務部学務課長補佐	甲斐嶋美香子
学務部学務課長補佐	前川 彩
学務部学務課係長	江川久美子
学務部学務課係長	川上和昌
学務部学務課	岡田裕也
学務部学務課	坂本千恵
学務部学務課	西野大樹
学務部学務課	福原 雄
就職部寝屋川就職課係長	鈴木晃子
実験サポート課長を解く(大学事務局次長)	早野秀樹

新任教職員(12月1日付)



長瀬寛之
●メディアコミュニケーションセンター 特定業務特任准教授



Event Notice
イベント予告

学内・学外で開催される予定の
イベント情報をお届けします。

卒業研究展

「なわてん」

学生の作品が
見えるチャンス



▶開催日 2019年2月9日(土)・10日(日)

▶会場 大阪電気通信大学 四條畷キャンパス

2018年度の総合情報学部の卒業研究展「なわてん」を開催します。
総合情報学部での学修の集大成である卒業制作や卒業研究の発表の場で、
今年で16回目の開催となります。
デジタルメディアを駆使したアート、アニメーション、ゲームなど、これ
から社会で活躍する学生たちのユニークな作品が揃います。



2019年度入試日程

試験種別	募集学部	出願期間	試験日	合否発表日
一般入試	工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部	インターネット出願:1月7日(月)0:00~1月21日(月)20:00 出願書類送付期限:1月21日(月)消印有効	A日程:1月31日(木) B日程:2月1日(金)	2月9日(土)
		インターネット出願:1月7日(月)0:00~1月30日(水)20:00 出願書類送付期限:1月31日(木)必着	—	2月13日(水)
		インターネット出願:2月8日(金)0:00~2月21日(木)20:00 出願書類送付期限:2月21日(木)消印有効	3月2日(土)	3月9日(土)
		インターネット出願:2月8日(金)0:00~2月25日(月)20:00 出願書類送付期限:2月26日(火)必着	—	3月9日(土)

※詳しくは、入学試験要項にてご確認ください。

資料請求・お問い合わせ

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学 入試部
TEL: 072-813-7374 FAX: 072-825-4589
Webサイト: <https://www.osakac.ac.jp/> E-mail: nyushi@osakac.ac.jp

寄附者芳名録

寄附金募集に対し、多数の方々よりお申込みをいただき、心より御礼申し上げます。
ご寄附をお申込みいただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名一覧

- ・ご芳名は、2018年8月1日から2018年11月30日までに寄附のお申込みをいただいた方(個人・団体)を掲載いたしました。
- ・お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。
- ・ご芳名は、五十音順に掲載いたしました(敬称略)

寄附金に関するお問い合わせ先

法人事務局 記念募金推進室
TEL: 072-824-1131(代) FAX: 072-824-1141
E-mail: bokin@osakac.ac.jp

個人・法人寄附

石川 智之	職員カレ一同好会	平田 貴之
茨木 陽光	多田見 寧子	福田 武
岩村 真吾	中村 文俊	村上 豊裕
植田 一正	日本マイクロステツズ(株)	物井 孝雄
大平 富義	野村 恭三	
株式会社オフィス21	早野 秀樹	

合計 ¥13,863,907

(2013年2月から2018年11月30日まで)